MAL-51B　CNQ3　2016年1月1日発行

LIXIL

スカイシアターシリーズ
コロニアル用 連窓・段窓・連段窓用水切りセット　施工説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

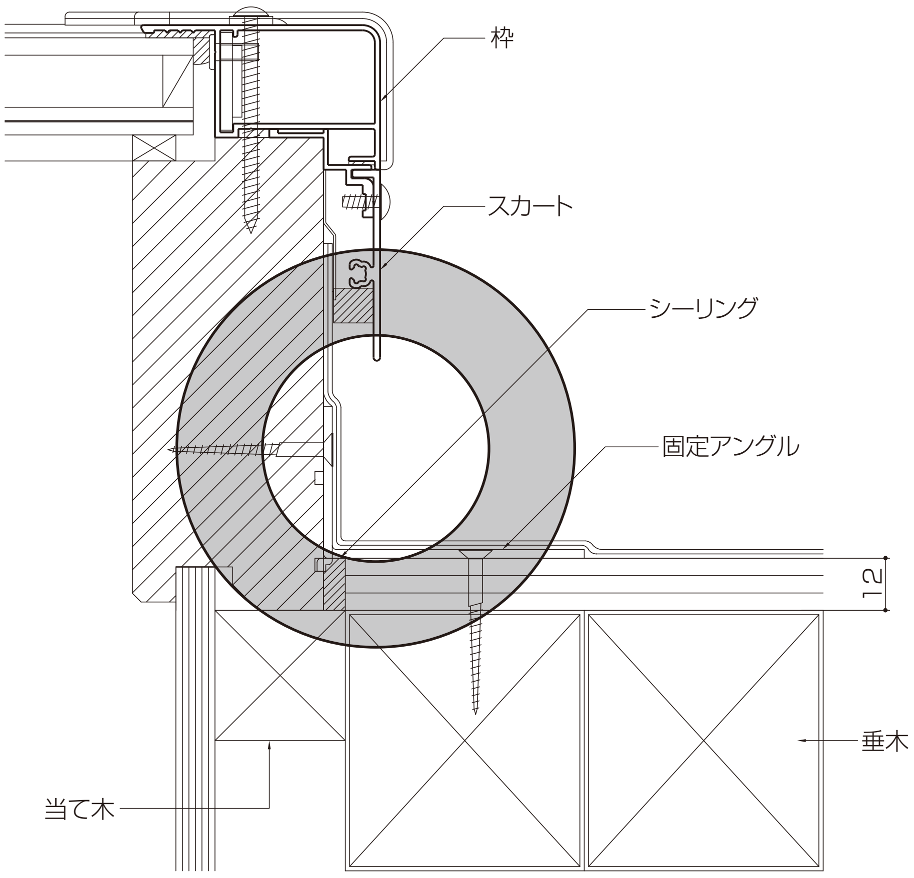
⚠注　意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

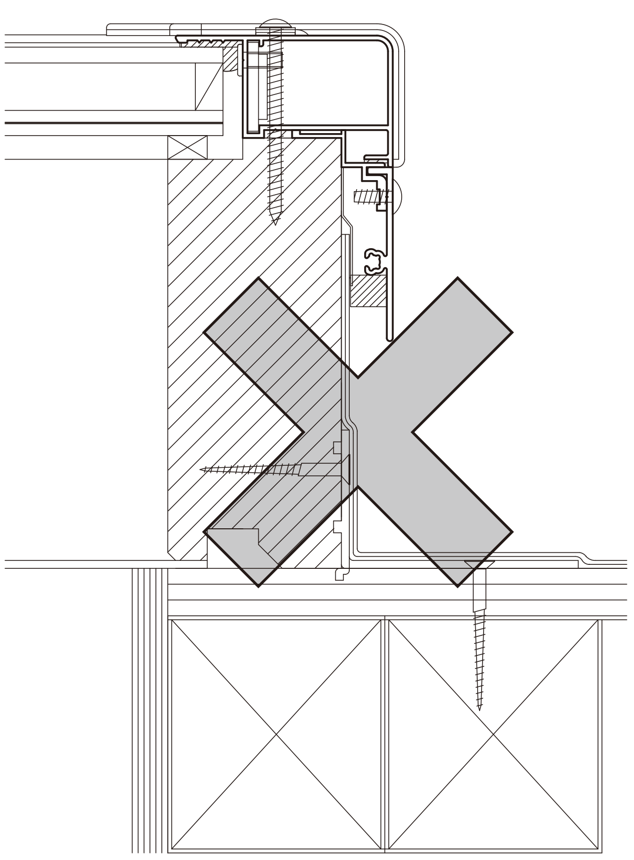
⚠注　意

●雨漏りの原因となるため、下記事項をお守りください。

- ・この商品は、野地板表面からの高さが7mm未満（瓦桟のないもの）の屋根材専用です。7mm以上の屋根材には「瓦用水切りセット」をお使いください。
- ・水切りを取付ける前に、「スカイシアター」本体が標準施工であることを確認してください。標準施工とは「スカイシアター」本体が野地板より一段（12mm）下がった当て木の上に取付けられる仕様をいいます。
- ・連窓時の左右の天窓および段窓時の上下の天窓の間隔は、いずれも110mm（＋2、－0）としてください。水切りの納まりが悪くなります。
- ・本体の軒側および棟側のコーナー部は、本文にしたがって必ずルーフィングのコーナー処理を行ってください。
- ・コーナーブチルの張付けはピンホールができないように、角部まで押付けてください。
- ・本文中のシーリング指示個所には、必ずコーキング材で防水処理をしてください。
- ・水切りの3方（棟側・左右縦側）には、必ず水密材を張付けてください。屋根材の裏側に水が浸入します。
- ・開口部の軒側端部からコロニアル取付け釘穴までの距離は必ず100mm以内にしてください。
- ・スカートは、組立てねじを先に取付けてください。取付けねじを先に取付けるとコーキングシーラーのつぶれが弱くなります。
- ・水切りは部材番号印の番号順に、また文字が反転しないように取付けてください。
- ・防水テープは浮き、シワにならないように強く押付けて張付けてください。

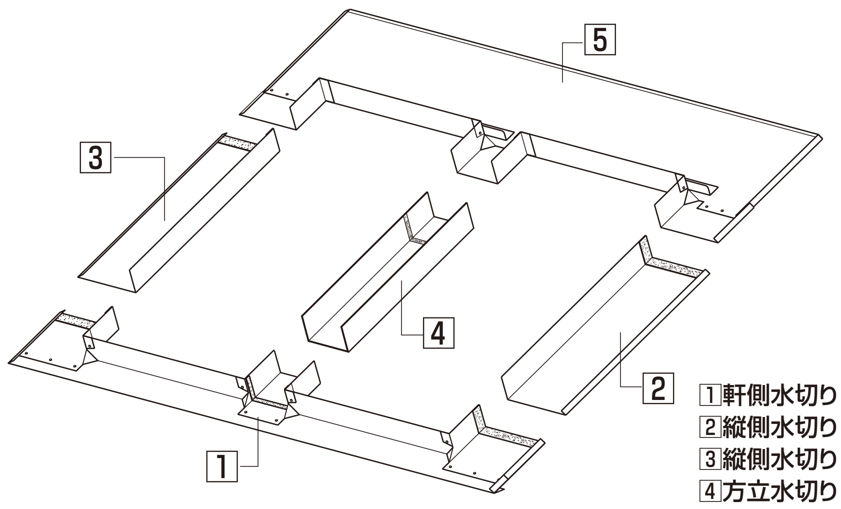
■標準施工





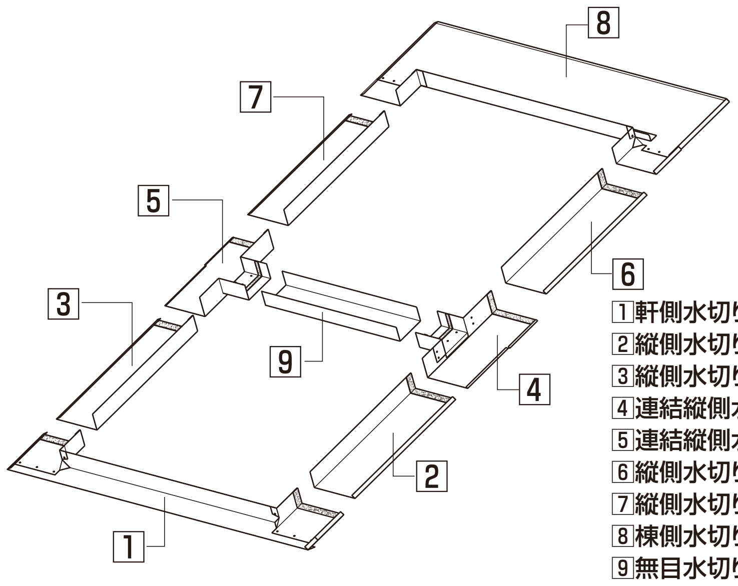
■梱包部材・部品一覧表

連窓用水切り



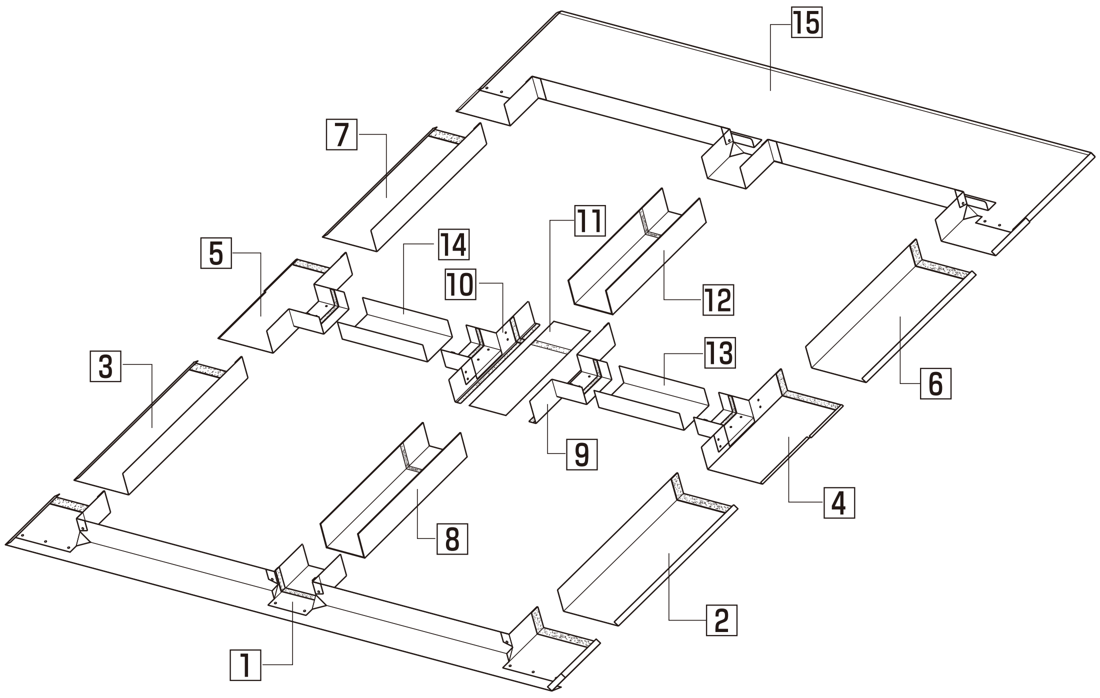
1 軒側水切り
2 縦側水切り（右）
3 縦側水切り（左）
4 方立水切り
5 棟側水切り

段窓用水切り



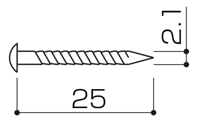
1 軒側水切り
2 縦側水切り（右下）
3 縦側水切り（左下）
4 連結縦側水切り（右）
5 連結縦側水切り（左）
6 縦側水切り（右上）
7 縦側水切り（左上）
8 棟側水切り
9 無目水切り

連段窓用水切り



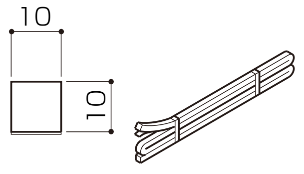
1 軒側水切り
2 縦側水切り（右下）
3 縦側水切り（左下）
4 連結縦側水切り（右）
5 連結縦側水切り（左）
6 縦側水切り（右上）
7 縦側水切り（左上）
8 方立水切り（下）
9 連段窓連結水切りA（右）
10 連段窓連結水切りA（左）
11 連段窓連結水切りB
12 方立水切り（上）
13 無目水切り（右）
14 無目水切り（左）
15 棟側水切り

水切り固定スクリュー釘

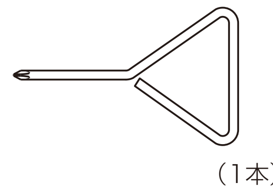


（35本）

水密材（10×10）



ドライバー



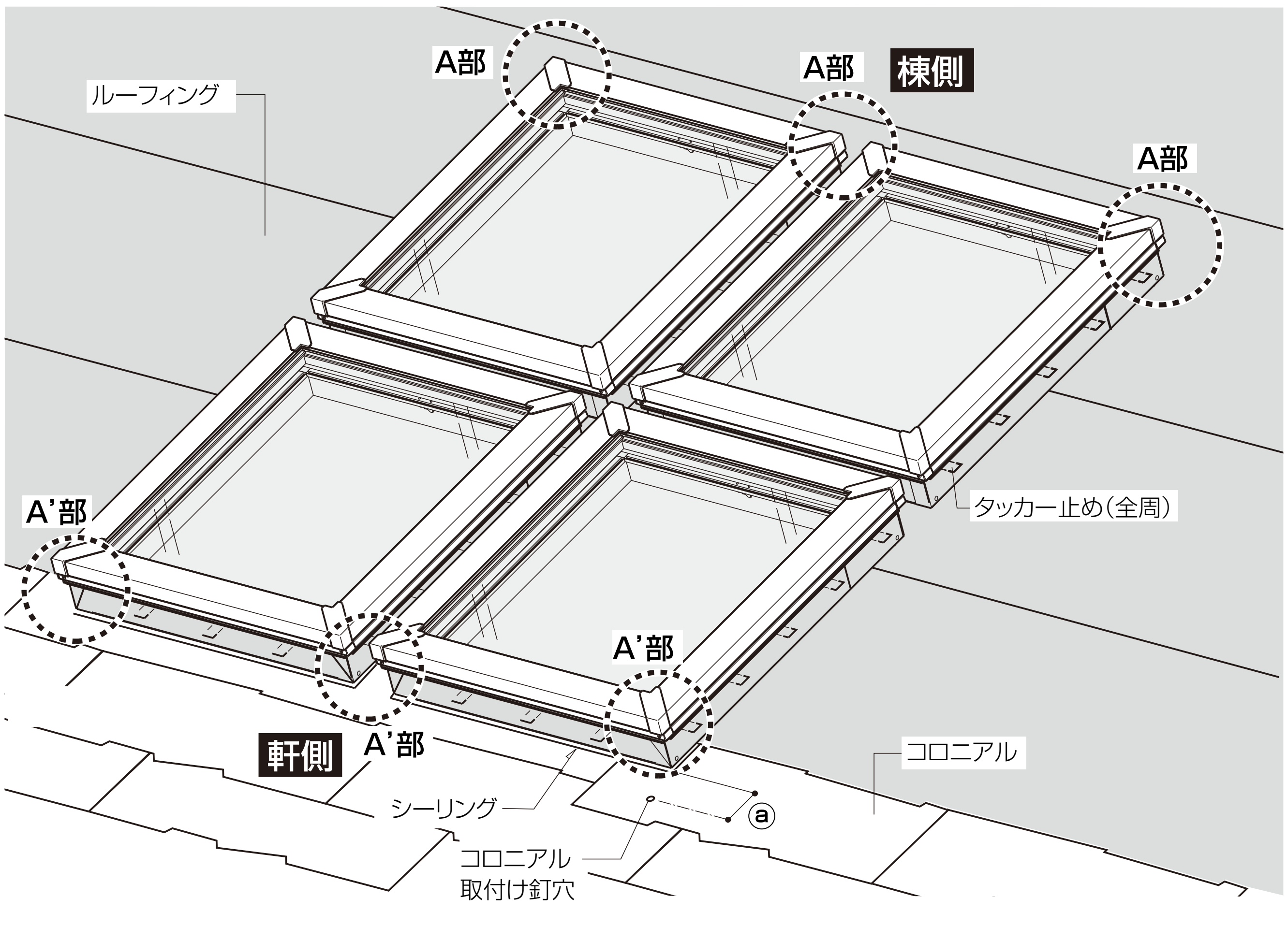
（1本）

●以下の順序は連段窓の場合ですが連窓、段窓の場合も同様に施工してください。

■取付け順序

1 ルーフィングおよび下地の施工

●下図のようにルーフィング（別途手配）を張ります。ルーフィングは、防水テープをめくり、防水テープの内側まで立ち上げてください。
●軒側のコロニアルをふきます。



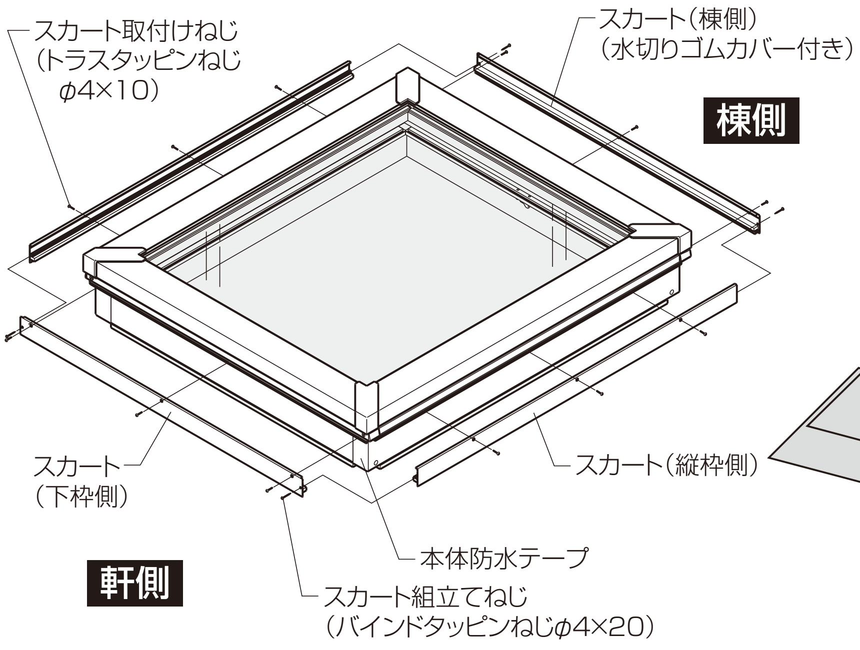
⚠注　意

●ⓐ寸法は100mm以内にしてください。釘穴より漏水するおそれがあります。

①スカートの取外し

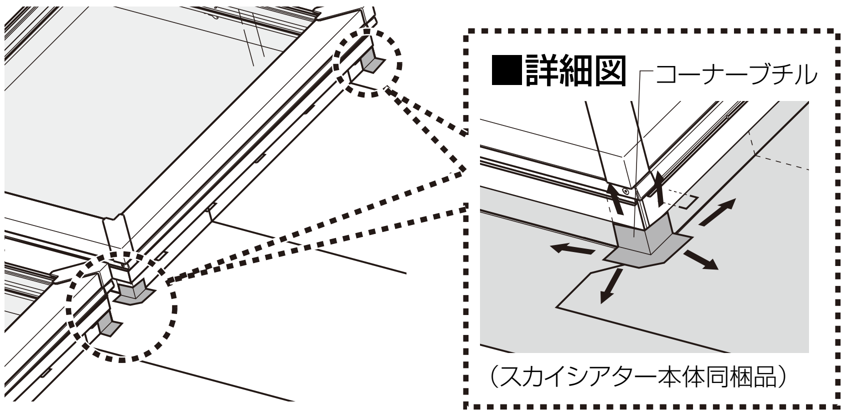
※スカート・ねじは大切に保管し、取付け時には必ず取付けてください。又、脱着しにくい個所のねじは、同梱のドライバーを使用してください。

●スカート取付けねじ、スカート組立てねじを外して、本体からスカートを取外します。



③コーナーブチルの張付け

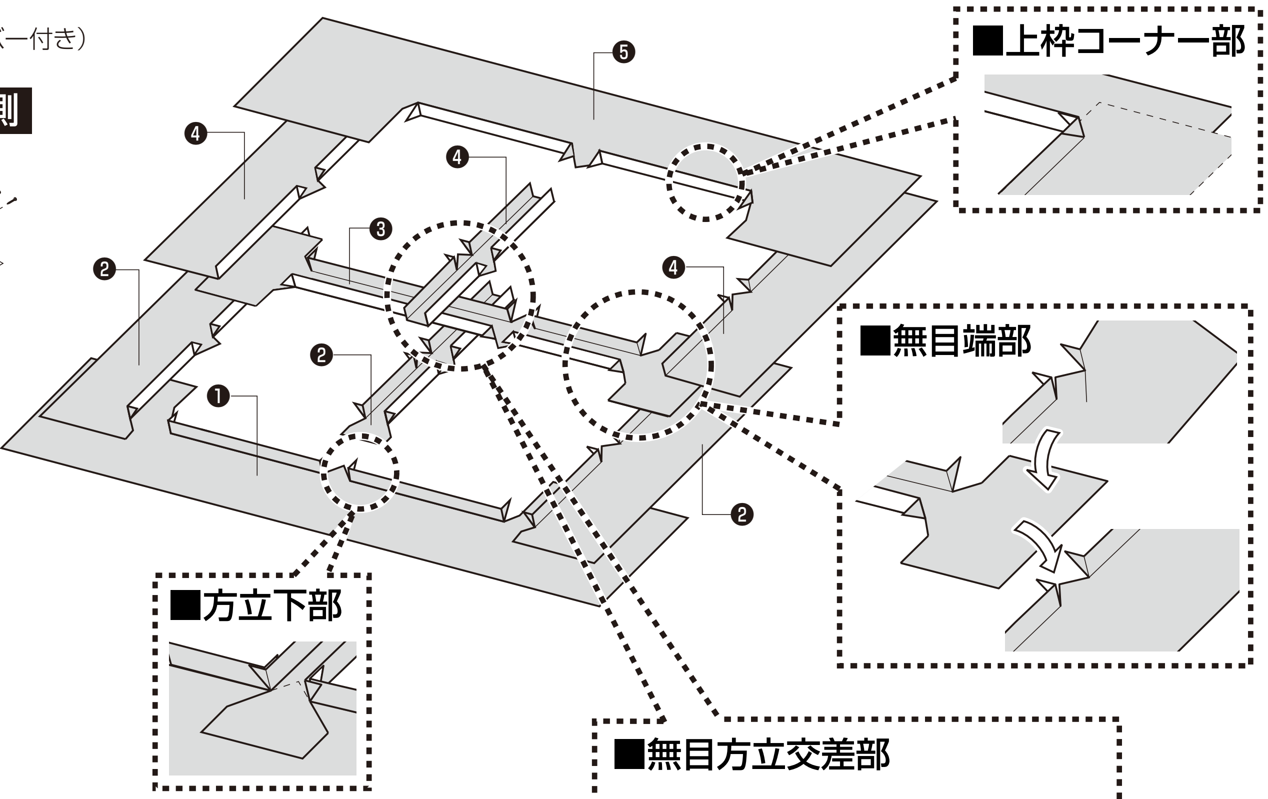
●コーナーブチルを本体の4隅に張付けます。

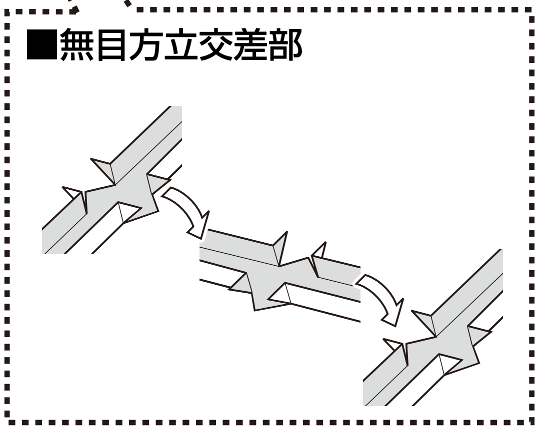


②ルーフィングの張付け〈A部・A' 部詳細図〉

●下図のように番号順にルーフィング(別途手配)を張ります。詳細図のように必ずすべてのルーフィングをスカイシアターの枠にそって立ち上げ、コーナーを折り曲げてください。ルーフィングは必ずスカイシアターの間(無目部、方立部)にも張ってください。又、必ず本体についてる防水テープをめくり、防水テープの内側まで立ち上げてください。

※図は連段窓の場合です。連窓・段窓の場合も同様に張付けてください。





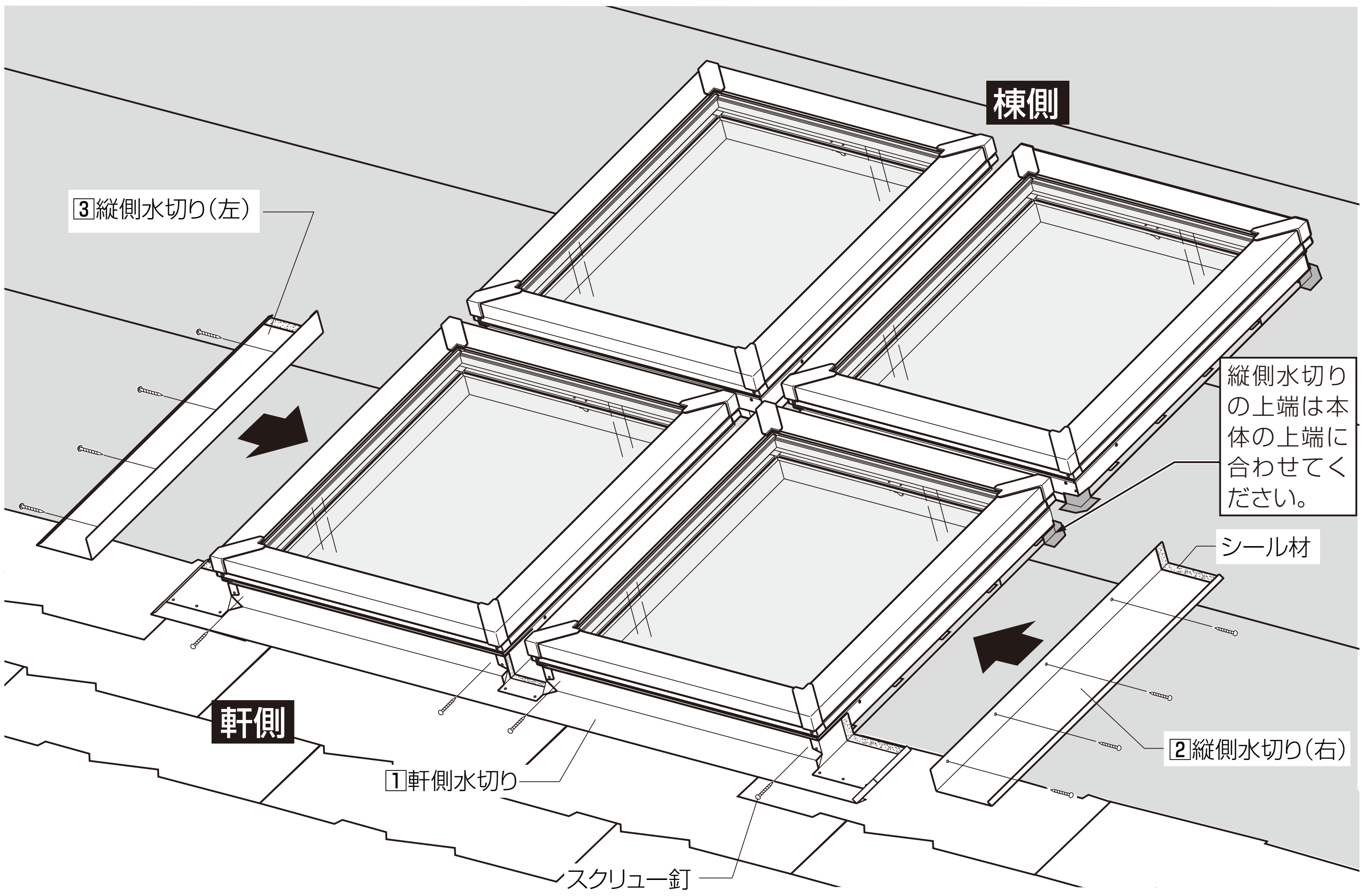
⚠ 注　意

●ルーフィングとの間にピンホールができないように角部まで押付けてください。

2 軒側・下段天窓縦側水切りの取付け

●水切りの取付け順序は部材番号印の番号順に防水テープをめくって取付けます。

※縦側水切りはシール材が棟側になるように配置してください。

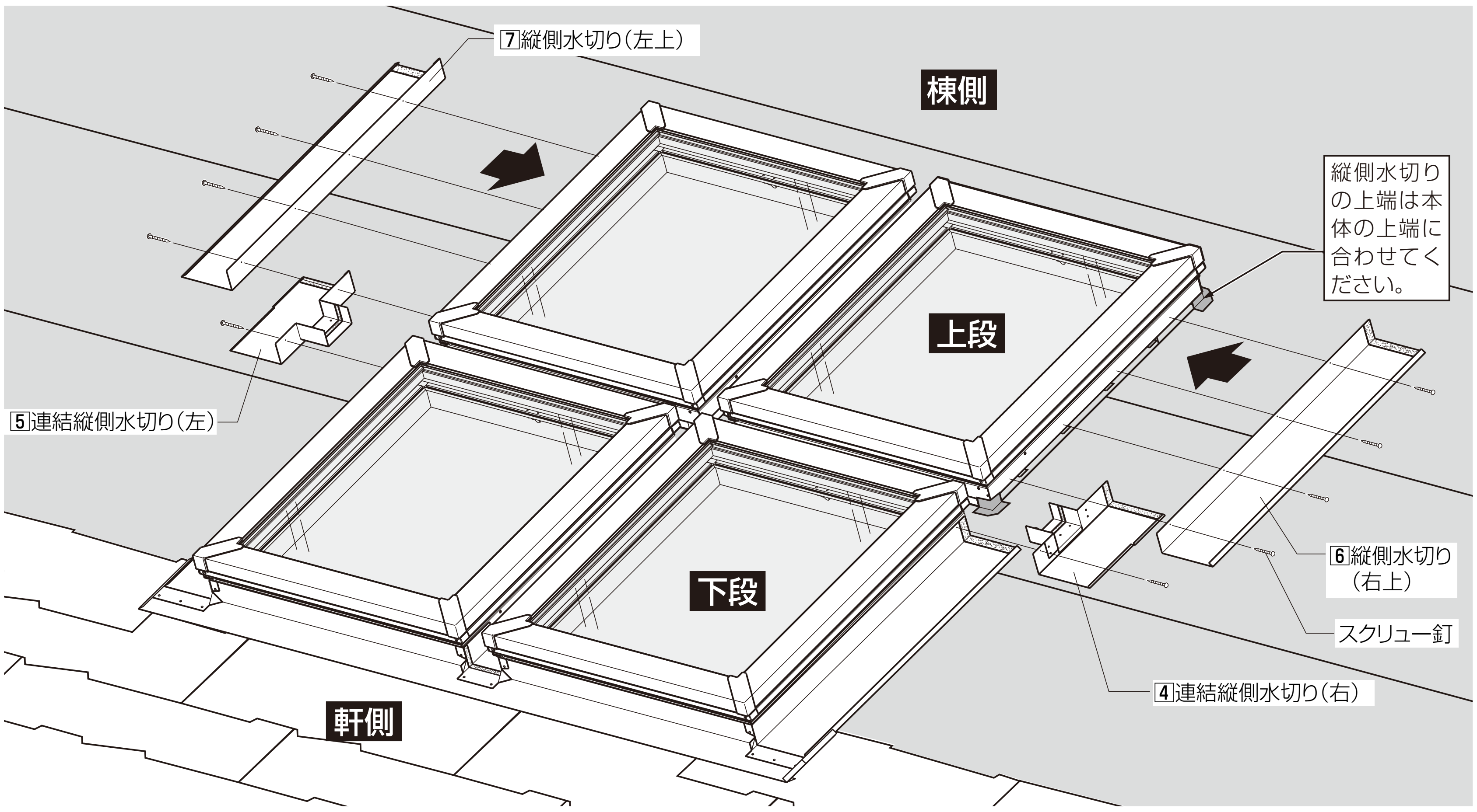


⚠ 注　意

●水切りは部材番号印の番号順に、また文字が反転しないように取付けてください。

3 連結縦側水切りと上段天窓の縦側水切りの取付け（段窓・連段窓の場合）

●段窓・連段窓の場合は連結縦側水切りと上段天窓の縦側水切りを取付けます。

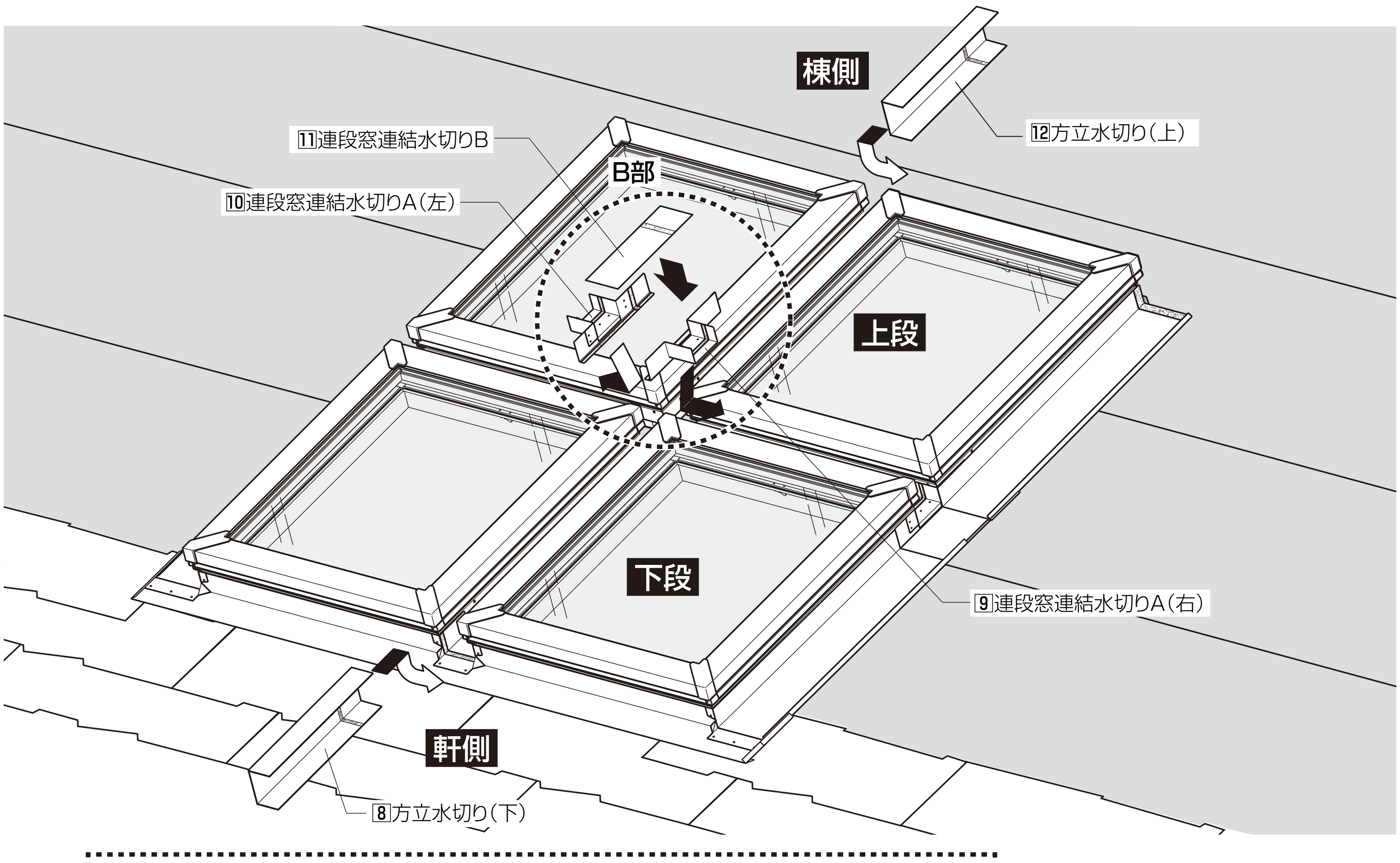


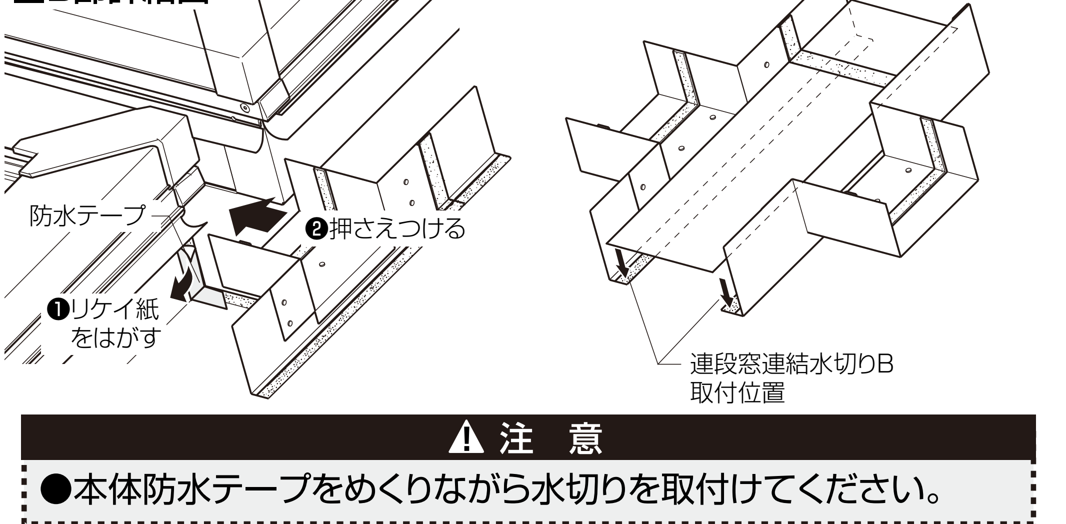
4 方立水切りと連段窓連結水切りA、Bの取付け（連窓・連段窓の場合）

●連窓の場合は方立水切りを取付けます。連段窓の場合はさらに連段窓連結水切りA、Bおよび、上段天窓の方立水切りを取付けます。

※方立水切りは天窓の間を回転させながら差込みます。

●水切りの位置を決めたらリケイ紙を抜き取るようにはがした後、押さえ付けてブチルテープと密着させます。



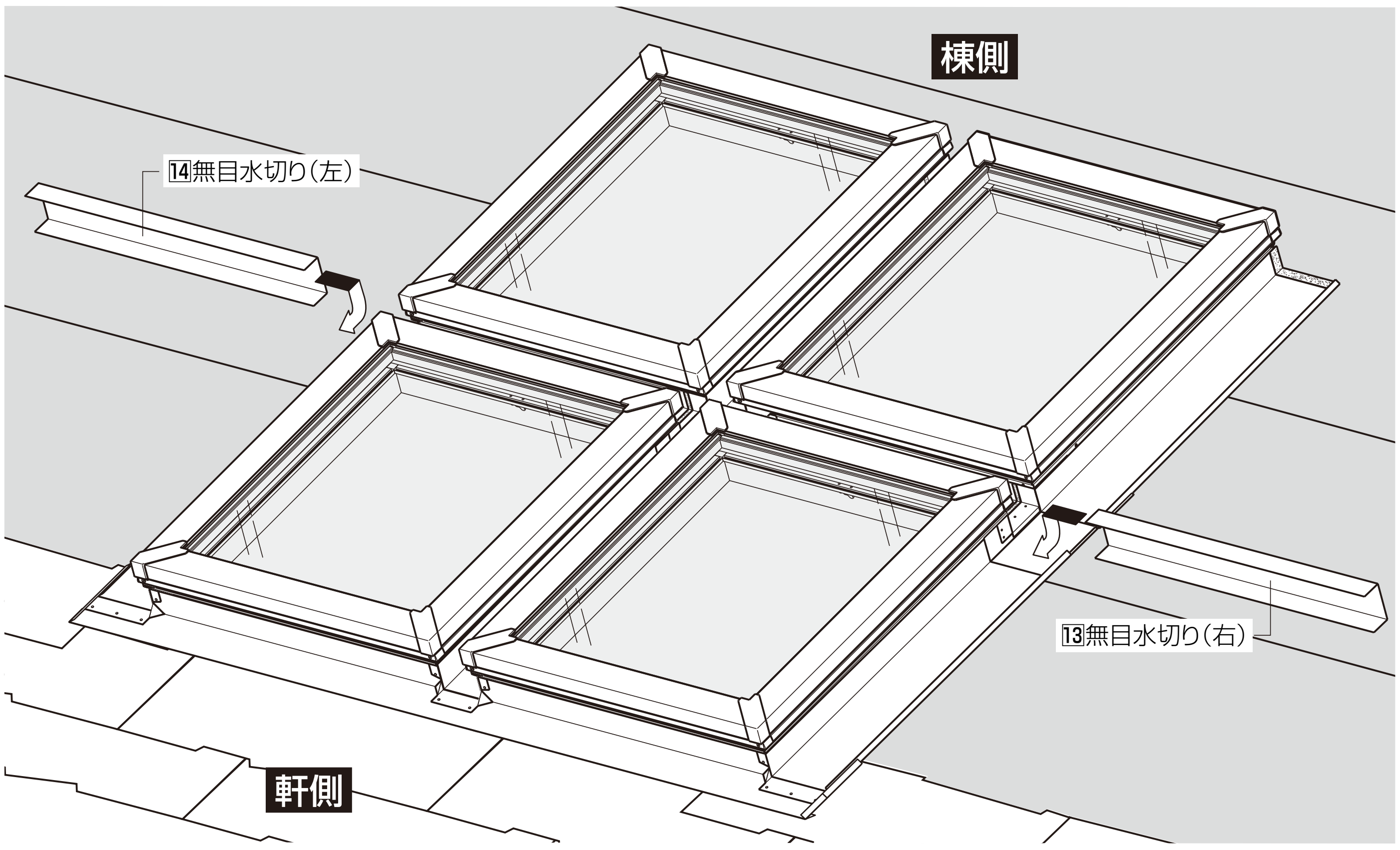


⚠ 注　意

●本体防水テープをめくりながら水切りを取付けてください。

5 無目水切りの取付け（段窓・連段窓の場合）

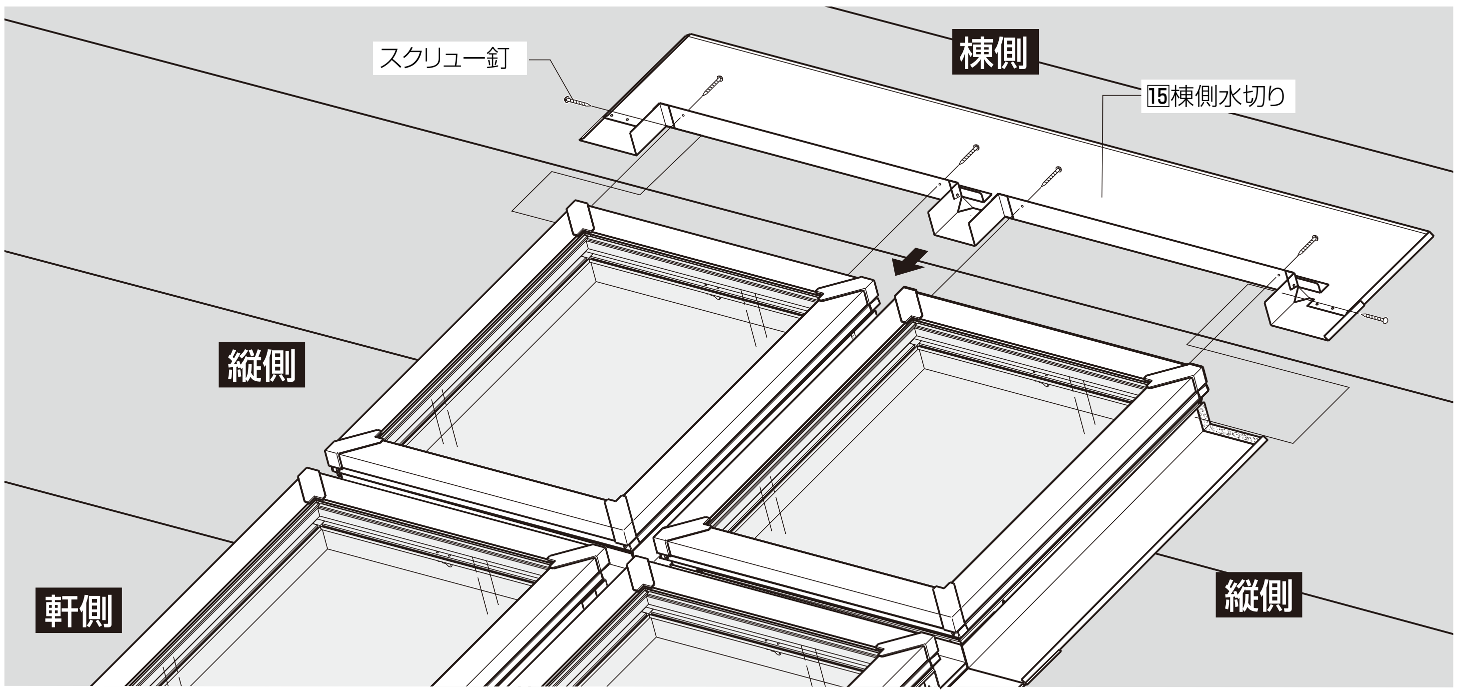
●無目部分（納まり図参照）に高さ15mmの補強材（別途手配）を取付けます。
●無目水切りを差込みます。
※無目水切りは天窓の間を回転させながら差込みます。
●水切りの位置を決めたらリケイ紙を抜き取るようにはがした後、押さえ付けてブチルテープと密着させます。



⚠注　意
●本体防水テープをめくりながら水切りを取付けてください。

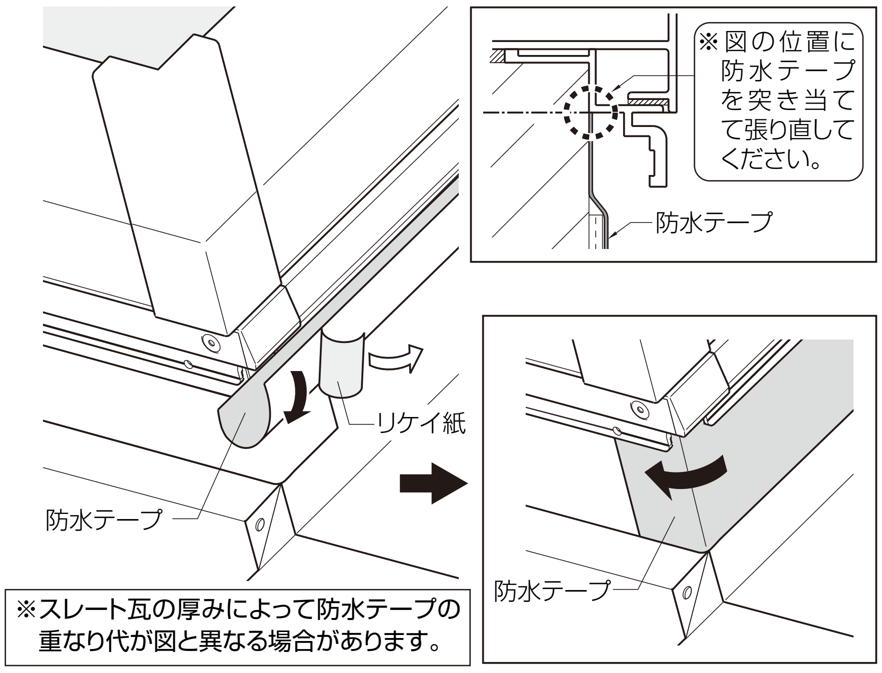
6 棟側水切りの取付け

●棟側水切りを差込みます。
●連窓・連段窓の場合には位置決めした後に方立部のリケイ紙を抜き取るようにはがして押さえ付け、ブチルテープと密着させます。
●棟側面をスクリュー釘で取付けた後、縦側面をスクリュー釘で取付けます。



7 本体防水テープの張付け

●水切りの取付け順序と同じ番号順で本体防水テープのリケイ紙をはがし、水切りとすき間、浮き、シワにならないように全体を圧着し張付けます。端部のはみ出しは巻込むように重ねて張ってください。
※防水テープは強く引張ってはがさないでください。はがれた場合には図のように張り直してください。

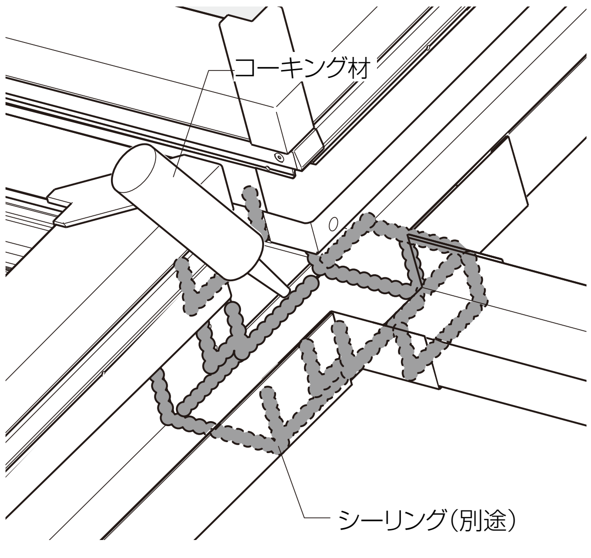


※スレート瓦の厚みによって防水テープの重なり代が図と異なる場合があります。

⚠注　意
●防水テープは浮き、シワにならないように強く押付けて張付けてください。

8 無目・方立部の止水処理

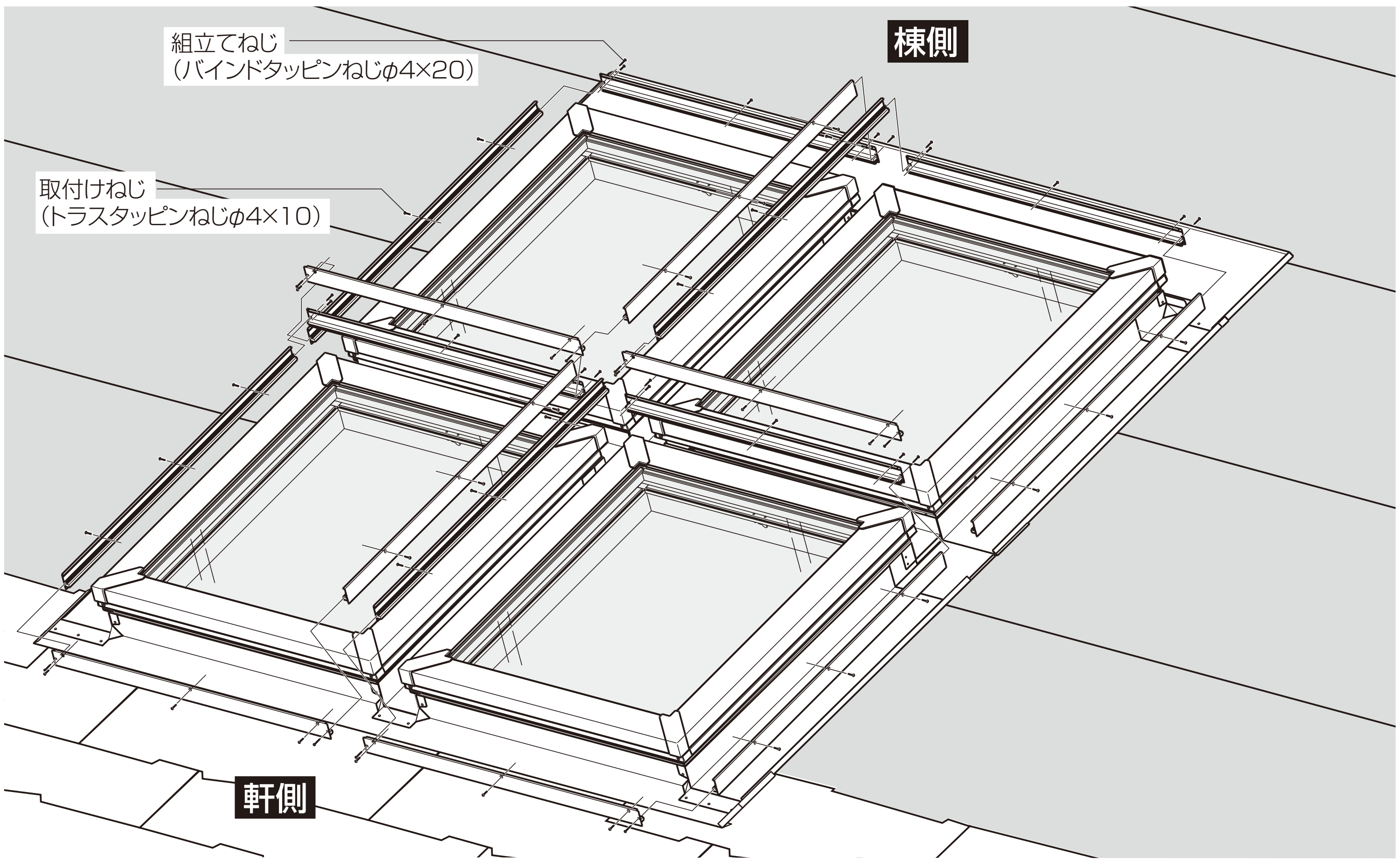
●ブチルテープで固定した無目両端、方立部上下の水切りの重なり個所には、シーリングをします。



⚠注　意
●シーリング指示個所には、必ずコーキング材で防水処理をしてください。

9スカートの取付け

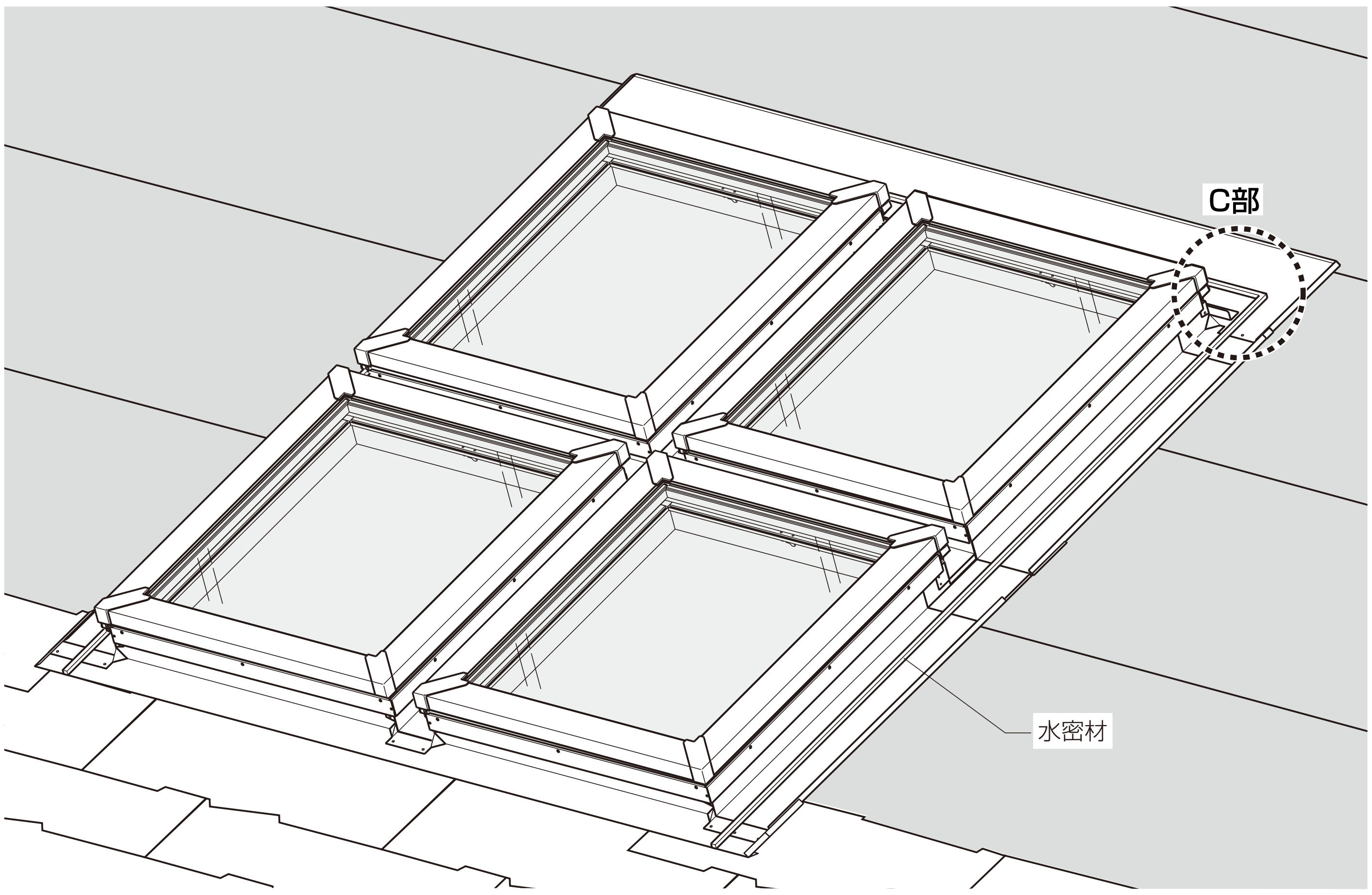
●本体のスカートをすべて取付けます。(取付け順序は1の「①スカートの取外し」の逆の手順です。)
※天窓の間(無目部・方立部)は付属のドライバーを使ってねじを取付けてください。

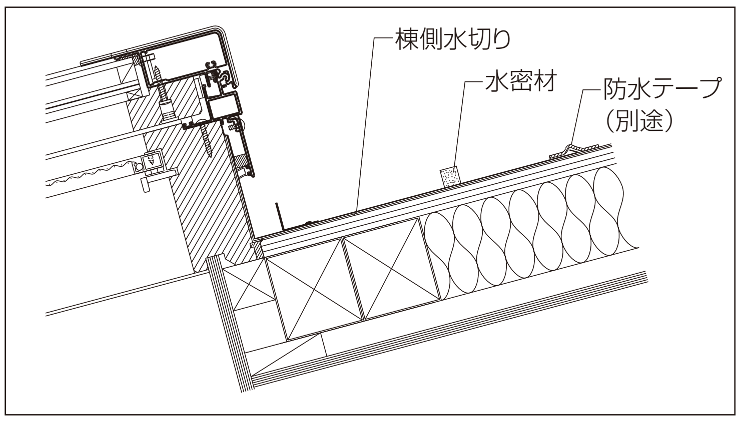


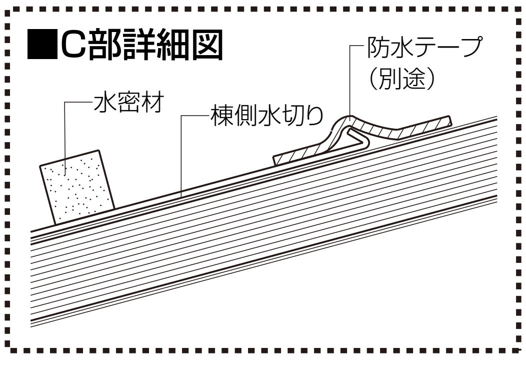
> **⚠注 意**
> ●スカートの組立てねじを先に取付けてください。取付けねじを先につけるとコーキングシーラーのつぶれが弱くなります。

10水密材・棟側防水テープの取付け

●水切りの三方(棟側・左右縦側)に水密材を取付けます。さらに棟側水切りの上端部に両端を少し長めに防水にテープ(別途)を張付けます。



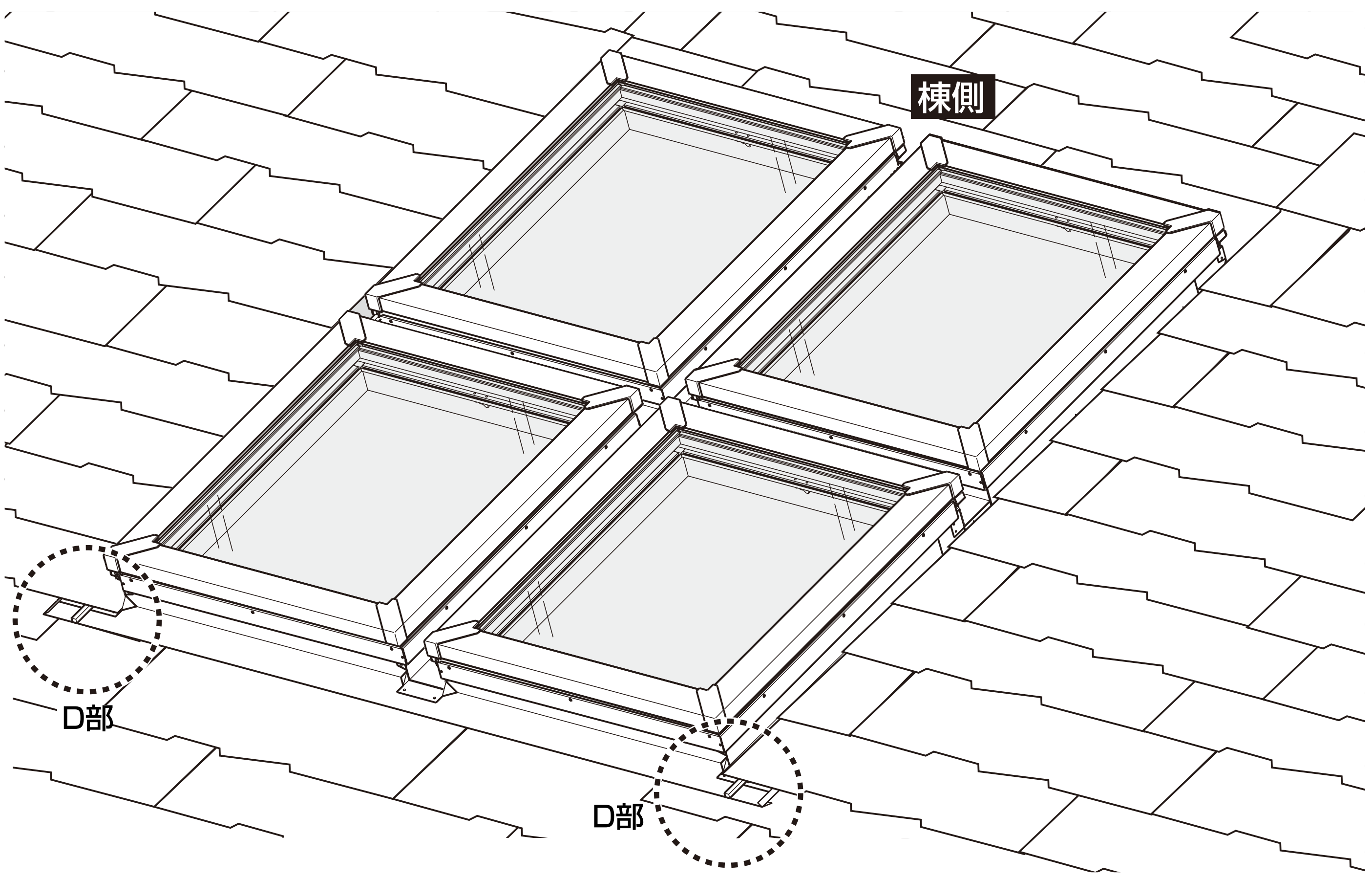


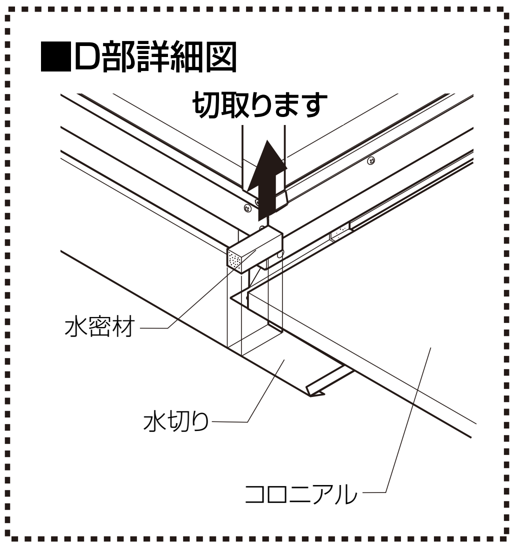


> **⚠注 意**
> ●水切りの3方(棟側・左右縦側)には、必ず水密材を張付けてください。

■コロニアル（スレート瓦）のふき上げ

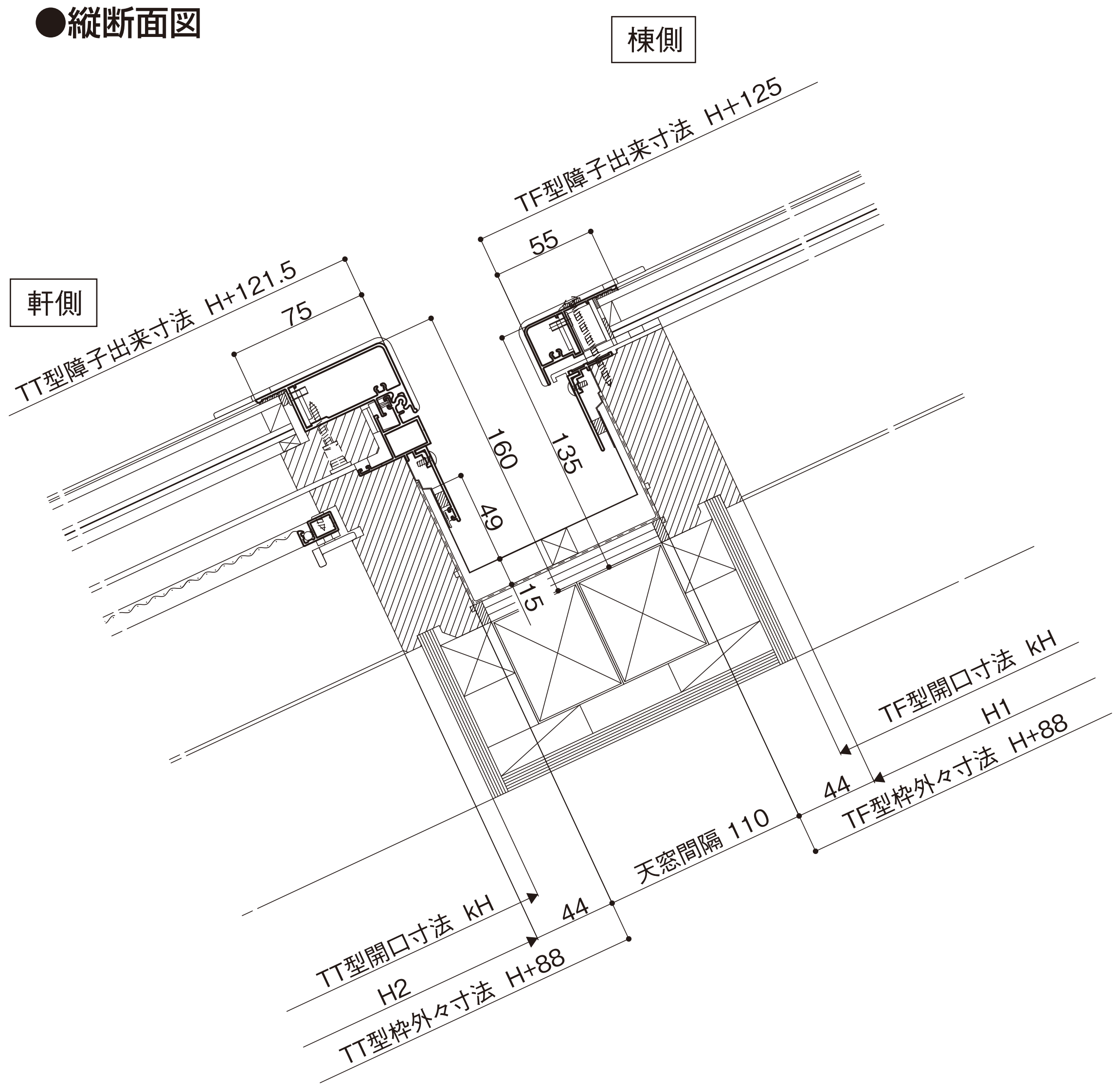
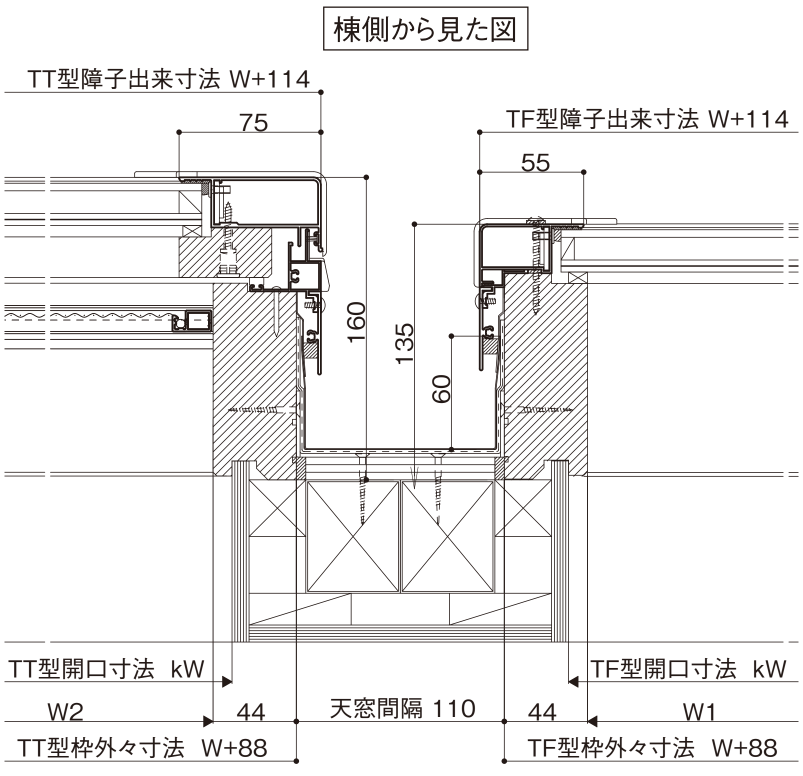
●コロニアルをふきます。
●余った水密材は、切取ってください。





■納まり参考図

●縦断面図



●横断面図